

2025年 6月25日

南砺市長

田中 幹夫 様

R7-002-001長寿介護係

高齢者補聴器購入に助成を求める要望書

高齢者補聴器購入に助成を求める会

全日本年金者組合南砺支部 中島 徳郎

南砺市北野783

南砺市新日本婦人の会 上古 眞澄

南砺市広安203

日頃、市政発展のためご尽力されていることに敬意を表します。

両耳が聞こえにくくなって会話に支障が出る「加齢性難聴」は、だれにでも起こる可能性があり、だいたい70歳を過ぎると3人に1人、80代になると3人に2人が難聴と言われています。いずれにしても、聞こえなくなるということはコミュニケーションが取りづらくなり、認知症につながっていきます。

高齢化に伴う「加齢性難聴」の治療は難しく補聴器で聴力を補う対策が中心になります。しかし、補聴器は数十万円と高額です。経済的理由で購入を我慢している人も多くみられます。

認知症の完全な治療は難しいと言われています。認知症予防が可能な因子には、生活習慣病やうつ改善も含まれますが、その中でも難聴は、対策をとることで認知症を予防できる一番大きな因子であることが明らかになっています。そして、難聴になった場合に有効なのが「補聴器」です。

いま、加齢性難聴の補聴器購入に独自の助成を行う自治体が増えてきています。県内でも小矢部市や滑川市、黒部市で助成しています。また、今年度から入善町でも65歳以上、所得制限ナシ、上限3万円で補助します。

私たちは、高齢者の補聴器購入に助成を求め、市民に署名を求め取り組んできました。市民の反応は、高齢者だけの問題と捉えるのではなく、世代を超えて助成が必要だと認識されていました。ここに、寄せられた701人分の署名を添え、要望書を提出します。要望は次の二つです。

1. 国、県に対し加齢性難聴者に対する補聴器購入の助成を求められたい。
2. 市独自にも加齢性難聴者に対する補聴器購入の助成をはかられたい。

